

# 福井のグッドカンパニー2024

## ロボット密度20%目指す

アフレル社長  
小林 靖英氏



「独自開発のロボットシステムの短納期、低コスト、操作性の良き、内製化を進める運用の自動化を支援する新規事業に力を入れています。」

「2030年の製造業におけるロボット密度（従業員1万人に対して稼働する産業用ロボットの数）20%を目指している。協働ロボットによる自動化ソリューションパッケージの開発では、生産現場の自動化率向上と導入・運用のしやすさを追求。最短2カ月

学校の様に展開しています。「自動車業界をはじめ、多くの分野で機械・電気からソフトウェアへの人材シフト要請が増えた。人工知能（AI）」といった先端技術、データ分析、システム開発のプロセス理解、開発言語習得などでリスキリング含む企業エンジニア育成に積極的に対応している。30年後の明るい未来社会づくりでは、教育機関向け『ロボティクスソフトウェア』の教材で高等教育向けを中心に小中学生を含め、『AIをつかう』から、AIをつくる人材」育成にも心血を注ぐ」

「新幹線が福井に来ます。人的交流とビジネス連携の増加が期待でき、30年に現在の事業規模10倍化を狙う。地域産学官連携で100年に一度のチャンスに挑戦する」



ピッキング・仕分け作業 自動化システム  
**ワーク Magic-1**  
by DOBOT series

Afrel X Robotics  
for Industry & Social

### 深刻化する人手不足の打開策！自動化推進は、 パッケージ×内製運用。

自動化で直面する「導入と運用の課題」に徹底的に向き合った協働ロボットソリューション、それが【ワーク Magic-1】です。システム1台で最大3人分の作業を行い、人手不足の解消に貢献します。

- ✓ パッケージ化で設計工程を大幅短縮、運用開始まで最短2カ月！
- ✓ 技術サポートと現場で使える運用教材で内製化を強力に推進！

5社限定 現場でどう使えるかを実際に見て、さわって、動かして体感！  
出張デモンストレーション&お試し運用 受付期間 3/22 (金)まで  
お申し込み受け付け中！※ご見学は随時受け付けております。

